

「うむい」

沖縄県立沖縄高等特別支援学校二年 松長 花奈

暑い夏にうさげた

手のひらと線香の匂い

幼い頃の僕は

意味さえも分からなかった

礎にきざまれた誰かの名前

指でなでたらお水をかけて

「安らかに眠ってね」

つぶやく声がきこえた

私は一年前の六月二十三日「慰霊の日」に、沖縄本土復帰五十周年イベントで「平和と音楽」をテーマにした沖縄出身アーティスト、「ルードアルファ」をメインとした音楽イベント「うむいの和」を親と一緒に見に行きました。そこで私はルードアルファさんが歌う「うむい」という歌を聞き「平和」とは何かを考える切っ掛けになりました。

そして、私が思う「平和」は、「家族」、「友達」、「学校生活」です。

なぜなら、沖縄戦やロシアとウクライナの戦争の中で爆弾が飛びかう中、逃げる時にはみんな生きのびるために必死で今の生活みたいに家族と一緒にご飯を食べたり出かけたり笑いあったりできないし、友達とは激しい戦争の中で今の生活のように一緒に遊んで楽しい事もできないし、また学校生活は戦争中は18才未満の子供や私と

同じ同級生も戦争にかりだされ、学校で友達と一緒に勉強できないけれど、私達は家族と一緒に笑ったりご飯も食べる事もできるし友達とも一緒に遊んで話したり、学校生活ではクラスのみんなと勉強でき幸せで当たり前な日常生活ができているから今の生活に感謝しなければならぬと思います。

なので、私はこれから戦争体験者などみんなが安心安全な生活ができるよう戦争の悲惨さをみんなに伝え、目の前にあるものは全て繋がれた奇跡で「争うよりも愛しなさい」という「うむい」の歌にでてくる言葉を大切に生まれきた時からある沖縄の自然も守ってずっと平和な世の中を作っていきたいです。

注²「争うよりも愛しなさい」と

忘れはしないおばあさんの涙

島の今日に悲しみ喜び

夢の地図に変えて唄に

わらびんちゃーの笑顔は光

ずっと守りたい君の未来

注¹・注²

引用 Rudeia「うむい」より
作詞 Rudeia